

# 野ネズミ防止対策

果実の収穫が終わった後、冬へ向けて重要な作業が“野ネズミ対策”です。  
果樹園に生息し樹木に大きな被害を与える野ネズミは、主にハタネズミです。

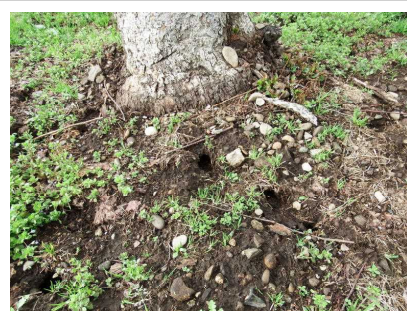
## ハタネズミの特徴

- 大きさ…体長：11～13cm、尾長：体長の0.3倍
- 生活…トンネル生活が中心。トンネルの中にワラや枯れ草を集めて巣を作る。
- 繁殖期…春（4～6月）と秋（9～10月）。1回に出産する数は、3～6匹。  
1回の繁殖期に3～4回出産することもある。

## 野ネズミの被害

### ①野ネズミの好む園地

- 草生、敷草、敷ワラなどを行っている園地
- 水田転換園
- 山林や原野に隣接した園地
- 新しく山林や原野を造成した園地



野ネズミが出入りする穴

### ②被害を受ける時期

冬から早春にかけて食害されます。特に早春に樹のまわりの雪が融け始めた頃に被害が増加します。

### ③狙われやすい樹

特に、苗木や若木が多く狙われますが、りんごのわい性台樹は成木も食害を受けます。

また、消雪後は根も食害を受けることがあります。食害の程度が激しいと樹木が枯死してしまふこともあります。



若木の食害



根の食害

# 防止方法

## 野ネズミを殺さずに被害を回避、忌避する方法

### 1. 園地をいつも清潔にしておきましょう！

樹園地内で野菜などを栽培した場合は、積雪前にきれいに残さを処分します。

### 2. 巣が作りにくい環境にしましょう！

収穫後、根元のまわり約2mの範囲の敷きワラや草などを除去し、清掃します。

### 3. 幹を保護しましょう！

#### ① 樹幹を被覆する方法

根雪前に、金網、ビニール(厚さ0.1mm以上)、杉葉、合成樹脂のプロテクターなどで、地上約1mまで被覆します。

#### ② 樹幹に忌避剤を塗る方法

アンレスまたはキヒゲンの10倍液を、幹の地上1mのところまで塗ります。

#### ③ 樹の周囲に忌避剤を散粒する方法

以下の忌避剤が、りんごのわい性台樹のみで使用可能です。

#### ネマモール粒剤30

樹幹下半径約50cmの範囲に1樹あたり100gを散粒し、表土と混ぜた後、鎮圧します。

#### フジワン粒剤

樹幹下半径約50cmの範囲に1樹あたり200g/樹を散粒し、土壌と混ぜます。



合成樹脂プロテクターで保護

ただし、これらの薬剤は、りんご樹に対してのみ使用可能ですので注意してください。

### 4. 根雪前に中、小枝程度の粗せん定を行ない、そのまま園地に残して餌にしましょう！

### 5. 2月上旬以降、幹の周りの雪がゆるんだら、これを踏み固めましょう！

# 野ネズミの園内発生密度を低くする方法

## 1. 殺そ剤による駆除

### ○使用時期

11月上旬頃と春の消雪後

### ○使用方法

リン化亜鉛、ヤソチオン粒剤10g入り小袋、またはブロックリン5g固形を園内や園地周囲のそ穴に1袋（1個）ずつ投入します。

### ○殺そ剤の特徴

①リン化亜鉛剤	即効性で、食べた後短時間で死にます。野ネズミが死ぬと体内で無毒となります。人畜に対する毒性は少ないです。
②ヤソジオン	連続して食べないと、効果があがりません。体内に蓄積されて血液が凝固するのを妨げる作用があり、内出血して死亡します。

### ○殺そ剤を使う際のポイント

- ①薬剤を投入する日の前日に園地全体のそ穴を踏み固め、翌日開いた穴に投入すると、経済的で効果も高まります。
- ②水田、畑地、樹園地を含めた地域全体で実施すると非常に効果的です。
- ③樹体保護の対策と、駆除を併せて行うことが、樹園地内の被害軽減につながります。

## 2. ワナを利用した駆除

リンゴの果実を餌にした捕殺器（パチンコ）を野ネズミが出入りする穴の近くに設置し、リンゴ箱で出入りする穴と捕殺器を覆う方法も効果があります。

**来年の春、野ネズミに食害されて悔しい思いをしないよう、  
しっかりと野そ対策に努めていきましょう！！**